



平成25年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 メディアシーク
コード番号 4824 URL <http://www.mediaseek.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西尾 直紀

問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務管理部長 (氏名) 根津 康洋

TEL 03-5423-6600

四半期報告書提出予定日 平成24年12月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年7月期第1四半期の連結業績(平成24年8月1日～平成24年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年7月期第1四半期	328	△2.3	△51	—	△45	—	△54	—
24年7月期第1四半期	335	△19.3	△32	—	△29	—	△17	—

(注) 包括利益 25年7月期第1四半期 △39百万円 (—%) 24年7月期第1四半期 △26百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年7月期第1四半期	△559.49	—
24年7月期第1四半期	△177.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年7月期第1四半期	1,908	1,542	78.3	15,406.97
24年7月期	1,885	1,581	81.5	15,843.09

(参考) 自己資本 25年7月期第1四半期 1,494百万円 24年7月期 1,536百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年7月期	—	0.00	—	0.00	0.00
25年7月期	—	—	—	—	—
25年7月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年7月期の連結業績予想(平成24年8月1日～平成25年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	643	△10.4	△54	—	△55	—	△56	—	△577.43
通期	1,450	1.0	9	—	10	—	1	—	10.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ― 社 (社名) 、 除外 ― 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注)第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】4ページ「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年7月期1Q	97,215 株	24年7月期	97,215 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年7月期1Q	233 株	24年7月期	233 株
----------	-------	--------	-------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年7月期1Q	96,982 株	24年7月期1Q	96,982 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により、上記予想数値と異なる場合があります。

業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項・・・・・・・・・・	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動・・	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用・・	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示・・	4
3. 四半期連結財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
(1) 四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書・・	7
(3) 継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・	9
(4) セグメント情報等・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境は依然として厳しく、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループは、法人事業において、個人や中小企業がスマートフォンアプリを簡単に制作・運用できるクラウド型情報サービス「Bizness Apps JAPAN」を新たに開始したほか、既存クライアント向けシステムコンサルティング業務による売上を計上しました。コンシューマー事業においては、人気コンテンツ「スーパーボディ」のYahoo!プレミアムでの配信を開始したほか、「Beauty マクロビオ」、「週刊プロレスmobile」、「東スポ芸能」等、スマートフォン向けコンテンツの強化を行いました。また、各種モバイル機器向けにバーコードリーダーのライセンス販売を行ったほか、スマートフォン向け無料提供版「バーコードリーダー/アイコンット」は、ダウンロード開始から8ヶ月で200万を超えるダウンロードを達成しました。その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、328,102千円(前年同期比2.3%減)、営業損失は、51,787千円(前年同期は、32,967千円の営業損失)、経常損失は、45,283千円(前年同期は、29,354千円の経常損失)、四半期純損失は、54,260千円(前年同期は、17,225千円の四半期純損失)となりました。

セグメント別の概況は以下の通りです。

当第1四半期連結累計期間より、スマートフォン市場の急速な成長を背景に、報告セグメントを「サービス開発事業」、「コンテンツ事業」及び「システムコンサルティング事業」から「法人事業」及び「コンシューマー事業」に区分を変更しております。また、前連結会計年度において、主にスマートフォン向けの新規技術等を開発するための研究開発部門を「調整額」で集計しておりましたが、報告セグメントの変更に伴い「コンシューマー事業」セグメントで集計するように区分を変更しております。前年同期比の金額及び比率については、前第1四半期連結累計期間を当第1四半期連結累計期間において用いた報告セグメントの区分に組替えて算出しております。

(法人事業)

法人事業においては、平成24年9月から、個人や中小企業がスマートフォンアプリを簡単に制作・運用できるクラウド型情報サービス「Bizness Apps JAPAN」を新たに開始したほか、既存クライアントに対するシステムコンサルティングサービスを実施しました。その結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、195,826千円(前年同期比39.0%増)、セグメント利益は、35,814千円(前年同期比184.0%増)となりました。

(コンシューマー事業)

コンシューマー事業においては、スマートフォン販売が急拡大し、従来型の携帯電話からスマートフォンへの移行が急速に進みつつあります。当社グループにおいては、人気コンテンツ「スーパーボディ」のYahoo!プレミアムでの配信(月額 399 円)を開始したほか、「Beauty マクロビオ」、「週刊プロレスmobile」、「東スポ芸能」等、スマートフォン向けコンテンツの強化を行いました。また、携帯電話ほか各種モバイル機器向けにバーコードリーダーのライセンス販売を行ったほか、スマートフォン向け無料提供版「バーコードリーダー/アイコンット」は、平成24年1月のダウンロード開始から8ヶ月で200万を超えるダウンロードを達成しました。その結果、同事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は、132,275千円(前年同期比32.1%減)、セグメント損失は、12,947千円(前年同期は、29,130千円のセグメント利益)となりました。

(2)連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

①資産の部

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、1,908,350千円(前連結会計年度末から22,428千円の増加)となりました。

このうち、流動資産は、1,370,885千円(前連結会計年度末から19,132千円の増加)となりました。これは、主として流動資産のその他に含まれている預け金が116,120千円増加したこと及びその他のたな卸資産が10,870千円増加した一方で、現金及び預金が76,357千円減少したこと及び売掛金が27,895千円減少したことによるものです。

固定資産は、537,465千円(前連結会計年度末から3,296千円の増加)となりました。これは、主として投資有価証券が8,724千円増加した一方で、有形固定資産が合計5,404千円減少したことによるものです。

②負債の部

当第1四半期連結会計期間末における負債は、365,490千円(前連結会計年度末から61,479千円の増加)となりました。

このうち、流動負債は、254,071千円(前連結会計年度末から48,736千円の増加)となりました。これは、主として短期借入金が91,000千円増加した一方で、買掛金が18,634千円減少したこと及び流動負債のその他に含まれている未払金が16,779千円減少したことによるものです。

固定負債は、111,419千円(前連結会計年度末から12,742千円の増加)となりました。これは、主として長期借入金が12,879千円増加したことによるものです。

③純資産の部

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、1,542,860千円(前連結会計年度末から39,050千円の減少)となりました。これは、主として第1四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が54,260千円減少した一方で、その他有価証券評価差額金が12,127千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年7月期の連結業績予想については、概ね当初の業績予想通りに推移しているため、平成24年9月7日に公表しました業績予想の数値に、変更はありません。

なお、当該予想については、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものです。実際の業績は、様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年8月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,020,358	944,000
売掛金	305,104	277,208
商品	173	151
仕掛品	5,559	9,260
その他のたな卸資産	3,985	14,856
その他	26,210	133,820
貸倒引当金	△9,638	△8,412
流動資産合計	1,351,753	1,370,885
固定資産		
有形固定資産	57,305	51,901
無形固定資産		
のれん	3,898	3,411
その他	4,560	5,624
無形固定資産合計	8,459	9,035
投資その他の資産		
投資有価証券	335,809	344,533
その他	159,245	158,645
貸倒引当金	△26,650	△26,650
投資その他の資産合計	468,403	476,527
固定資産合計	534,168	537,465
資産合計	1,885,921	1,908,350
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,482	42,848
短期借入金	—	91,000
1年内返済予定の長期借入金	24,804	34,884
未払法人税等	18,976	3,527
賞与引当金	2,873	—
その他	97,197	81,811
流動負債合計	205,334	254,071
固定負債		
長期借入金	76,251	89,130
退職給付引当金	239	230
資産除去債務	19,146	19,213
その他	3,040	2,845
固定負債合計	98,676	111,419
負債合計	304,011	365,490

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年10月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,962	814,962
資本剰余金	948,203	948,203
利益剰余金	△77,872	△132,132
自己株式	△39,678	△39,678
株主資本合計	1,645,614	1,591,354
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△102,376	△90,248
為替換算調整勘定	△6,744	△6,908
その他の包括利益累計額合計	△109,120	△97,156
少数株主持分	45,415	48,661
純資産合計	1,581,910	1,542,860
負債純資産合計	1,885,921	1,908,350

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第 1 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 8 月 1 日 至 平成23年10月31日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 8 月 1 日 至 平成24年10月31日)
売上高	335,736	328,102
売上原価	246,641	212,236
売上総利益	89,095	115,865
販売費及び一般管理費	122,063	167,652
営業損失 (△)	△32,967	△51,787
営業外収益		
受取利息	12	792
受取配当金	2,003	1,721
その他	2,135	4,736
営業外収益合計	4,151	7,250
営業外費用		
支払利息	398	567
その他	138	179
営業外費用合計	537	746
経常損失 (△)	△29,354	△45,283
特別損失		
固定資産除却損	151	—
特別損失合計	151	—
税金等調整前四半期純損失 (△)	△29,505	△45,283
法人税、住民税及び事業税	663	2,589
法人税等調整額	△13,781	2,897
過年度法人税等	—	142
法人税等合計	△13,117	5,630
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△16,387	△50,913
少数株主利益	838	3,346
四半期純損失 (△)	△17,225	△54,260

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年8月1日 至 平成23年10月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年8月1日 至 平成24年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△16,387	△50,913
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,121	12,127
為替換算調整勘定	△583	△264
その他の包括利益合計	△9,705	11,863
四半期包括利益	△26,092	△39,050
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△26,774	△42,295
少数株主に係る四半期包括利益	681	3,245

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年8月1日 至 平成23年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	法人事業	コンシューマ ー事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	140,914	194,822	335,736	—	335,736
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	5,221	—	5,221	△5,221	—
計	146,135	194,822	340,958	△5,221	335,736
セグメント利益又は損失(△)	12,610	29,130	41,741	△74,709	△32,967

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年8月1日 至 平成24年10月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 2
	法人事業	コンシューマ ー事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	195,826	132,275	328,102	—	328,102
(2) セグメント間の内部売 上高又は振替高	13,689	—	13,689	△13,689	—
計	209,515	132,275	341,791	△13,689	328,102
セグメント利益又は損失(△)	35,814	△12,947	22,866	△74,653	△51,787

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、全社管理部門の費用です。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年8月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間のセグメント損益に与える影響は軽微です。

(報告セグメントの変更等)

当第1四半期連結累計期間より、スマートフォン市場の急速な成長を背景に、報告セグメントを「サービス開発事業」、「コンテンツ事業」及び「システムコンサルティング事業」から「法人事業」及び「コンシューマー事業」に区分を変更しております。また、前連結会計年度において、主にスマートフォン向けの新規技術等を開発するための研究開発部門を「調整額」で集計しておりましたが、報告セグメントの変更に伴い「コンシューマー事業」セグメントで集計するように区分を変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。